

東金市

文化財ガイドブック

歴史と自然をめぐる道

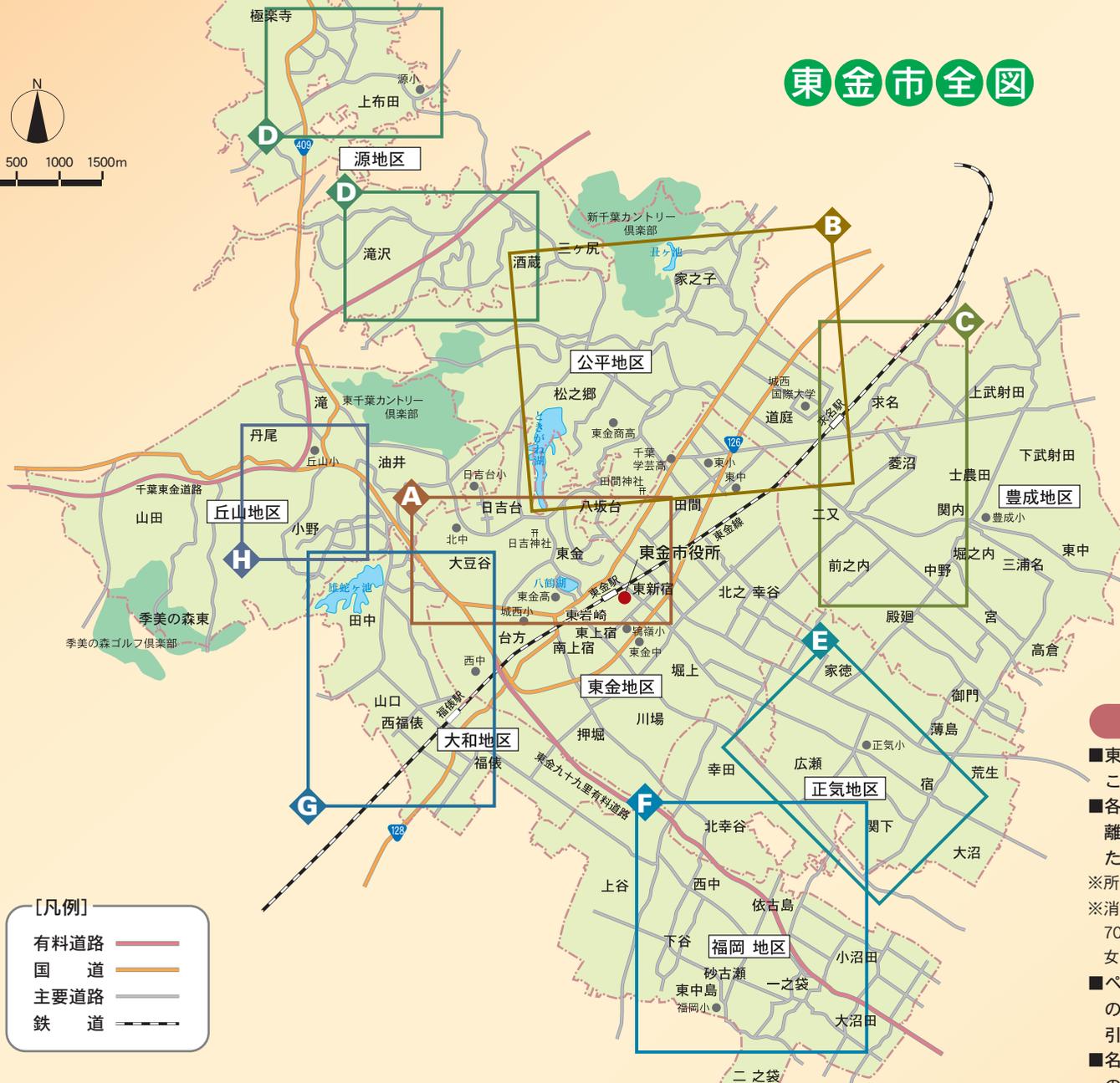
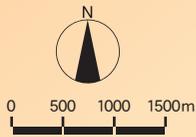


目次

CONTENTS

東金市全図	1
ガイドブックの使い方	2
A 東金地区	5
八鶴湖周遊コース・湖畔一望コース	
B 公平地区	11
鎌倉文化コース・古墳発見コース	
C 豊成地区	17
将門伝説コース・自然観察コース	
D 源地区	21
杉香る林道コース・源模範村散策コース	
E 正気地区	25
田園ロマンコース・和算発祥巡りコース	
F 福岡地区	28
自然と神仏コース	
G 大和地区	31
万葉吟遊コース	
H 丘山地区	33
西行行脚コース	
「街道物語」	35
① 御成街道をゆく	37
② 上総道学の道をゆく	39
③ 千鶴の道をゆく	41
④ 九十九里鉄道をゆく	43
伝統芸能四季暦(無形文化財)	45
文化財一覧表	47
あいうえお順検索	49

東金市全図



東金地区	A
八鶴湖周遊コース・湖畔一望コース	
公平地区	B
鎌倉文化コース・古墳発見コース	
豊成地区	C
将門伝説コース・自然観察コース	
源地区	D
杉香る林道コース・源棟範村散策コース	
正気地区	E
田園ロマンコース・和算発祥巡りコース	
福岡地区	F
自然と神仏コース	
大和地区	G
万葉吟遊コース	
丘山地区	H
西行行脚コース	

ガイドブックの使い方

- 東金市を8地区ごとに分けて、文化財を中心に見どころを散策コースで紹介しています。
- 各地区のコースには、道順と合わせ、所要時間と距離、消費カロリーを記載していますので、自分に合ったペースで散策をお楽しみください。
- ※所要時間には、見学に要する時間は含まれていません。
- ※消費カロリーは、40~50代の男性で体重60kgの人が分速70mで1分歩くと消費する3.51kcalを基準にしています。女性の場合は、これよりマイナス10%が目安になります。
- ページの左右に並んでいるアルファベットが各地区の掲載ページを表しています。見ている地区からも引きたい地区のページにたどりつけることができます。
- 名前から探したい場合は、ガイドブック最終ページの「あいうえお順検索」をご活用ください。

[凡例]

- 有料道路
- 国道
- 主要道路
- 鉄道

東金市の歴史

■東金のあけぼの

旧石器時代および縄文時代の遺跡の多くは、丘陵地帯に分布しています。現在、最も古い住居跡は縄文時代早期、約7000年前と考えられるものが発見されています。これから約5000年間、悠久な縄文文化が東金においても開花しました。

■古代人の生活を伝える遺跡

弥生時代は、水田農耕、織物(紡織機)、そして金属器が広まっていった時代といわれています。市内に所在する道庭遺跡からも、弥生文化を示す資料が多く発見され、山武地域の中核であったと考えられています。

古墳時代になると、遺跡数が増え、家之子古墳群や油井古塚原古墳群をはじめとする14の古墳群が残っています。さらに平安時代にかけては、集落跡、鉄生産跡、寺跡などが発見され、村の原形がつくられてきました。

■さまざまな文化の波

東金文学の始まりは万葉集です。8世紀に活躍した万葉の歌聖・山部赤人の赤人塚(田中)と赤人像が伝えられています。また、仏教文化の到来により、真言宗・禅宗・日蓮宗の諸寺が建立されていきました。

■北条三代と久我城

鎌倉時代後半の建長元年(1249)に北条長時が松の郷に久我城(古賀城)を築いたと言われています。以後、長時の子久時、孫守時の3代にわたり北条氏と関係が深く、やがて鎌倉幕府滅亡とともに、久我城も廃城となりました。願成就寺には北条三介の墓と伝わる五輪塔が残っています。

■東金の礎を築いた酒井氏

室町時代に東金を支配したのは、土気城主・酒井小太郎定隆でした。定隆により、領内全域が日蓮宗に改宗されたと伝えられています。隠居後の大永元年(1521)に三男隆敏とともに東金城へ移ったとされ、5代にわたって東金酒井氏がこの地を治めます。城下町として現在の町並みの原形が築かれたのもこの時代でした。

■問屋町として栄えた江戸時代

江戸時代、東金は徳川幕府の直轄領となりました。鷹狩りに来遊するため東金と船橋を結ぶ御成街道がつくられ、また東金と海岸を結ぶ御成新道も同時期につくられました。この道を通して九十九里の海産物などが東金に集まり、江戸へ運ばれるようになります。東金は問屋町として発展し、「上総の黄金町」とうたわれました。

■明治維新後の東金

廃藩置県を経て、東金は明治2年(1869)に宮谷県、同4年に木更津県、そして同6年に千葉県と管轄となりました。明治22年の町村制で8町村が誕生。これら8つの地区は互いに協力し合いながら近代化への道を歩んできました。

酒井小太郎定隆彫像
(所在:東金文化会館)

東金市へようこそ。

恵まれた自然の中で、九十九里地域の中核都市として発展してきた東金市。遙か旧石器時代より、さまざまな歴史物語が誕生しました。その面影を多くの有形・無形文化財に見ることができます。このガイドブックを片手に、歴史と自然をめぐる旅へお出かけください。



位置・地勢

千葉県の中東部、九十九里平野のほぼ中央に位置し、西部に八街市と千葉市、北部に山武町と成東町、東部に九十九里町、南部に大網白里町と隣接しています。首都圏から50km圏にあり、高速道路や快速電車等により都心への交通利便性が高い地域です。

交通のご案内

- お車で
都心より京葉道路→千葉東金道路→東金IC(約60分)
- 電車で
JR / 東京→外房線「千葉駅」→東金線「大網駅」→「東金駅」(58分)
京成 / 上野→京成千葉中央駅(フラワーバス成東行き)→東金(90分)
- 高速バスで
ちばフラワーバス・京成バス / 東京→東金(65分)

A 東金地区 八鶴湖周遊コース

東金駅から、または最福寺に車を停めて出発。八鶴湖の西をぐるりと周り、日吉神社や石碑巡りなど、自然と歴史を満喫できます。

【八鶴湖～日吉神社～市東塚】

- ⑤ 東金駅 0.8km
- ① 東金御殿跡 0.1km
- ② 本漸寺・碑林 0.5km
- ③ 東金城跡 0.4km
- ④ 唐金茂右衛門の墓 0.6km
- ⑤ 日吉神社本殿・表参道杉並木 0.7km
- ⑥ 市東塚 0.5km
- ⑦ 八雲神社 0.1km
- ⑧ 高砂浦五郎両親の供養塔 0.2km
- ⑨ 岐島神社 1.6km
- ⑩ 佐藤信淵先生家学大成之地の碑 1.2km
- ⑪ 八幡神社 東金駅
- ⑫ 菅原神社

所要時間：約105分
距離：約7.2km
消費カロリー-360kcal

A 東金地区 湖畔一望コース

市内が一望できる展望台、岩川池や山林の自然、日殷上人や櫻木闇斎の墓碑など、徒歩約1時間で巡るコンパクトなコースです。

【最福寺～山王台公園～お林の墓地】

- ⑤ 東金駅 0.6km
- ① 最福寺 0.4km
- ② 古山王神社 0.1km
- ③ 山王台公園 0.4km
- ④ 浅間神社 0.3km
- ⑤ 岩川池 0.8km
- ⑥ 日殷上人の墓 0.3km
- ⑦ 東金馬場跡 0.3km
- ⑧ 桜木闇斎の墓・お林の墓地 七曲がり 1.0km
- 東金駅

所要時間：約60分
距離：約4.2km
消費カロリー-210kcal



所要時間：約105分
距離：約7.2km
消費カロリー-360kcal

所要時間：約60分
距離：約4.2km
消費カロリー-210kcal

⋯⋯⋯ 八鶴湖周遊コース
⋯⋯⋯ 湖畔一望コース
♿ トイレ
P 駐車場

スポット紹介

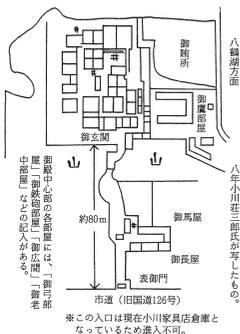
A 東金地区 A 八幡湖周遊コース

とうがね ごてん

東金御殿跡

地図P6 1

徳川家康が鷹狩りに来遊する際の宿泊所として、東金御殿が建てられました。ここには家康が2回、秀忠が7回来遊しました。



日吉神社本殿・表参道杉並木

地図P5 5

本殿は市指定有形文化財で、建てられたのは元和元年か



ら延宝年間(17世紀)ごろと思われま。神社の表参道約200mの両側には、39本の杉が立ち並んでいます。樹齢は推定350年以上で、徳川家康が植樹させたものと伝えられています。

ほん ぜん し

本漸寺・碑林

地図P5 2

本漸寺は、東金城主・酒井定隆の菩提寺として建てられた由緒ある寺で、顕本法華宗に属する御朱印寺です。乾龍文庫には、日乗上人の著書や蔵書など貴重な文献が保存されています。近くの御殿山は、東金を詠んだ詩、歌、句など文学作品の碑林となっています。



東金城跡

地図P5 3

東金市の基礎を築いた戦国時代の酒井氏の居城です。城山と呼ばれる丘の上に築かれ、大永元年(1521)に酒井定隆と隆敏が田間城から移ったと伝えられています。



菅原神社

地図P5 12

古くは天満宮、明治からは菅原神社と称されるようになりました。祭神は学問の神様としてあがめられる菅原道真です。「岩崎天神」と親しまれ、学生たちが合格祈願に訪れます。

八幡神社

地図P5 11

台方大弥勒・小弥勒の鎮守として創建された神社で、祭神は善多別命です。境内の広さは54坪。参道入口には、大正元年(1912)に弥勒氏が建立した石鳥居があります。

し とう づか

市東塚

地図P5 6

市東刑部左衛門(1574~1605)は、慶長10年(1605)の飢饉の際、村人を守るため役人を斬り米倉を開放しました。村人は、自害した市東の塚を造り、徳を偲びました。



とうがね も え もん

唐金茂右衛門の墓

地図P5 4

唐金(水野)茂右衛門は、商都東金を象徴する江戸時代の豪商でした。上宿で酒と醤油の醸造業によって巨万の富を築いたとされ、房総の各地で豪華な生活ぶりを謳った唄が歌われました。「唐金茂右衛門東懸」という芝居まで上演され、大評判をとったといわれています。

ちょっと
まわろう
バラ園

地図P5 13

たかさぐら ごろう

高砂浦五郎両親の供養塔

地図P5 8

大豆谷村生まれの高砂浦五郎(1838~1901)は、相撲界の改革に尽くした力士で、高砂部屋を創設しました。明治17年(1884)には先祖と両親の供養塔を建立しています。



八雲神社

地図P5 7

台方の大作地区の氏神として創建されたといわれる神社です。境内には杉や椎などの大木が多く見られ、手洗石や平成2年(1990)11月の御大典記念樹などがあります。



さとうのぶひろ

佐藤信淵先生家学大成之地の碑

地図P5 10

博識の天才学者・佐藤信淵(1769~1850)は、江戸で活躍した後、大豆谷に移り住んで農業技術を指導しました。「佐藤信淵先生家学大成之地」と刻まれた石碑が建っています。



巖島神社

地図P5 9

元亀元年(1570)に村の守護神として創建したといわれ、弁財天と呼ばれています。寛永3年(1626)から、日吉神社の御神幸に神輿の御旅所と定められました。



スポット紹介

A 東金地区 湖畔一望コース

さいふくじ 最福寺

地図P6 1

文明11年(1479)に天台宗から日蓮宗妙満寺派へ改宗、天正19年(1591)には御朱印寺となりました。智者大師画像をはじめ数々の寺宝、珍しい多羅葉(葉書の木)、切られ与三郎の墓などがあります。



東金馬場跡

地図P6 7

お林の墓地の北側に広がる一帯は、かつて酒井氏が在城していた時代、馬の訓練所とされていた地です。ここでは、農兵の訓練などが行われていたようです。現在は畑となり、当時の面影を見ることはできません。



こさんとう 古山王神社

地図P6 2

山王台公園の右手の高台にある神社です。近江国(きんけい)の山王神社の分霊をまつり、山王台権現と称したのが起こりとされています。後に古山王台と呼ばれるようになりました。



さんとうだい 山王台公園

地図P6 3

東金市内を一望できる高台にあり、九十九里まで見渡せる展望公園です。休日にはお弁当を持った家族やカップルが訪れます。春は花見の名所として親しまれ、夜桜とともに見事な夜景が楽しめます。また、元旦には初日の出を拝む人たちにぎわいます。



せんげん 浅間神社

地図P6 4

岩川池の近くに建つこの神社は、古くは「千眼天王」「千眼大明神」とも呼ばれていました。子育ての神様として親しまれ、毎年6月30日の「せんげんさま」のお祭りは、浴衣姿でお詣りする子どもたちなどで賑わいます。境内には子持杉の歌碑もあります。

岩川池

地図P6 5

上池、下池からなる岩川池は、江戸時代、田間村の人たちの灌漑用水池として造られたといわれています。この地が松之郷村にあったため、田間村の人たちは村内の一等地を松之郷村に提供したと伝えられています。



おうぎざんさい 櫻木間斎の墓・七曲がり

地図P6 8

櫻木間斎(1724~1804)は江戸の大儒者・稲葉迂斎(いなば)について朱子学を修め、上総道学八子の一人として東上総地域の庶民を教導しました。墓(市指定文化財)は、八鶴湖から七曲がり坂をのぼった先、お林の墓地内にあります。「道学墓」と呼ばれる形の豪華壮大な墓碑です。



にちいんしょうにん 日殷上人の墓 市指定文化財

地図P6 6

法華経の布教に努めた日殷(1527~1590)は、天正11年(1583)に東金本漸寺四世となりました。松之郷にある墓上にはタブの大木がそびえ、その樹下に享保10年(1725)頃の建立と推定される供養碑があります。



はやし お林の墓地

地図P6 8

お林とは江戸時代、東金・田間・二又(豊成地区)の領主となった福島城主・板倉氏の山です。町民に自由な入山を許し、薪を取ることを許可した善政が伝えられています。

ちよっと まわい道 東金文化会館

地図P6 9

市民の文化・芸術活動の拠点となっている施設です。1213席の大ホール、340席の小ホール、企画展示室、常設展示室、こども科学館、会議室などを備え、コンサート、演劇、映画など幅広く利用されています。



B 公平地区 鎌倉文化コース

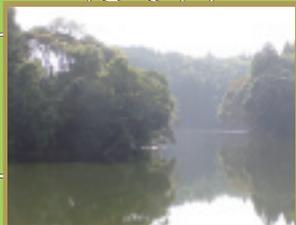
【八坂神社～東金ぶどう郷～田間城跡】

公平地区の南側は、県指定文化財の八坂神社本殿内殿、本松寺の鐘楼、ときがね湖、ぶどう郷、上行寺の骨董祭など見所いっぱい。

- ⑤ 求名駅
- ↓ 2.8km
- ① 石橋記念館
- ↓ 0.5km
- ② 願成就寺・三介の墓
- ↓ 0.4km
- ③ 八坂神社
- ↓ 0.4km
- ④ 本松寺・木刀塚
- ↓ 2.0km
- ⑤ 東金ぶどう郷
- ↓ 3.0km
- ⑥ 壽福寺
- ↓ 1.8km
- ⑦ 上行寺
- ↓ 0.5km
- ⑧ 玉前神社
- ↓ 0.5km
- ⑨ 田間神社・田間城跡
- ↓ 0.8km
- ⑩ 天神社
- ↓ 1.2km
- ⑪ 久我城跡
- ↓ 3.2km
- 求名駅

行程
所要時間：約245分
距離：約17.1km
消費カロリー-857kcal

- 鎌倉文化コース
- 古墳発見コース
- ♿ トイレ
- P 駐車場



新千葉カントリー倶楽部

三介の墓

東立東金商業高校(久我城跡)

東金文化会館



B 公平地区 古墳発見コース

【妙宣寺～丑ヶ池～道庭古墳群】

求名駅または公平公民館から出発。公平地区の北側で、メインは妙宣寺仁王尊、道庭古墳群、ほっと一息つきの最適な丑ヶ池です。

行程
所要時間：約120分
距離：約8.2km
消費カロリー-410kcal

- ⑤ 求名駅
- ↓ 2.0km
- ① 羽黒神社
- ↓ 0.5km
- ② 妙宣寺
- ↓ 2.0km
- ③ 丑ヶ池
- ↓ 1.0km
- ④ 道庭古墳群
- ↓ 0.3km
- ⑤ 元福寺
- ↓ 0.1km
- ⑥ 稲荷神社
- ↓ 2.3km
- 求名駅



公平水路橋
両総用水
南部幹線

公平公民館

御狩橋

東金市緑花木センター

新開店

スポット紹介

A
B
C
D
E
F
G
H

公平地区 鎌倉文化コース

石橋記念館

地図P12 1

農家で、名主を務めた旧家として知られていた石橋氏宅は、幕末期の大規模な農家の例として貴重な建築です。中には、後の文部大臣・石橋一弥の遺品及び公平地区に関する資料等を展示しています。



八坂神社

地図P11 3

正応2年(1289)、久我城主・北条久時の勧請と伝えられ、明治以前は牛頭天王宮、現在は八坂神社と呼ばれ天王様として親しまれています。本殿内殿(県指定文化財)は元禄4年(1691)に改築され、現在は明治時代に造られた覆屋(市指定文化財)によって風雨から守られています。



市指定天然記念物の銀杏

がんじょうじゆ じ さん すけ

願成就寺・三介の墓

地図P11 2

北条久時が弘安3年(1280)に建立し、枝垂桜で有名な寺です。三基の五輪塔(市指定文化財)は、久我城主北条長時・久時・守時の「三介の墓」といわれ、室町時代頃の作とされています。



ほんしょうじ ぼくとうづか

本松寺・木刀塚

地図P11 4

上総十か寺の一つで、10余りの末寺をもつ大きな寺です。入母屋造り、袴腰つきの鐘楼は県内でも貴重な建築物です。境内には、小野派一刀流の木刀塚碑(市指定文化財)があります。厳しい稽古で折れた木刀を埋めた「木刀塚」の上に、宝暦4年(1754)に碑が建てられました。



東金ぶどう郷

地図P11 5

千葉県一のスケールを誇る広い園内に、巨峰やオントリオ、スチューベンなど10種類以上が栽培されており、ぶどう狩りやバーベキューが楽しめます。秋のシーズンには、東京都内をはじめ近県から多くの行楽客が訪れ、東金の名所となっています。



じゆ ふく じ

壽福寺

地図P11 6

顕本法華宗に属し、最福寺の末寺です。天正19年(1591)、願成就寺の改宗開祖・日誦の創建と伝えられます。寺には中老日法の作といわれる宗祖日蓮坐像が安置されています。



じょうぎょうじ

上行寺

地図P11 7

北条氏の菩提寺として久我城の一角に建てられたものですが、享保年間(1716~1735)に田間の地に移りました。現在の本堂は平成3年(1991)に建てられています。



天神社

地図P11 10

菅谷本村の山王宮から分霊を勧請した神社で、祭神は菅原道真です。明治以前は山王さまと呼ばれ、明治に入ってから天満天神と改称し天神講が結成されました。



玉前神社

地図P11 8

上総一宮の玉前神社の分霊を奉納しています。田間地域では、一番古い社屋の神社といわれています。



田間神社・田間城跡

地図P11 9

酒井定隆が永正6年(1509)に築いたとされる田間城(市指定文化財)は、戦国時代の典型的な丘陵城郭です。主郭の北側には田間神社の本宮をまつています。田間神社には仏教の神様で



だいろくでん
ある第六天がまつられており、地元では「第六天さま」と呼ばれています。

久我城跡

地図P11 11

鎌倉時代後半の建長元年(1249)、北条長時が松之郷に築城したといわれています。やがて、鎌倉幕府滅亡とともに廃城となりました。



ちよっと まわい道

ときがね湖

地図P11 12

新しいレジャースポットとして人気の東金ダムは、1周約3.8km、総貯水量230万m³のゾーン型アースダムです。ときがね湖(ダム)の周囲には、季節の花が楽しめる遊歩道が整備され、憩いの場となっています。



スポット紹介

B 公平地区 古墳発見コース

みょうせん じ 妙宣寺

地図P12 2

日蓮宗に属し、開基の円教大姉は護良親王の息女・華蔵姫といわれています。円教大姉は、ここで亡き父の冥寺を祈ったとされ、以後10世まで尼寺でした。寺には縦121cm・横165cmの大絵馬(市指定文化財)があり、絵柄は平忠盛が油法師を捕らえている武者絵です。また、仁王門にある金剛力士像の表情が非常にユニークで親しまれています。



うし が いけ 丑ヶ池

地図P12 3



家之子北部の山林にある農業用ため池です。確かな記録は残っていませんが、江戸中期、干ばつに苦しんだ農民が造ったと伝えられています。現在は林道が池の上流部まで通り、釣り人やハイキング客も増えています。池とその周辺には貴重な動植物が生息しており、自然環境や地形を活かした整備が計画されています。

はぐろ 羽黒神社

地図P12 1



どうにわ こ ぶんぐん

道庭古墳群

地図P12 4

道庭台地の上に10基の古墳があります。この古墳群は長年の耕作でそのほとんどが削り取られ、現在では千葉県農業大学校が建っており、原形を残すものは1~2基に過ぎません。方墳の1つが2段築成なのが特徴で、直径32m、高さ7.5mと東金市内で最も大きい方墳です。円墳の1つには馬頭観音の石碑が見られます。



がんぶくじ 元福寺

地図P12 5

顕本法華宗に属し、本漸寺の末寺です。かつて酒井定隆の改宗令に反対して追放され、本漸寺の三坊が置かれましたが、安永8年(1779)に元の寺号の元福寺になおされました。

いなり 稻荷神社

地図P12 6



みかり 御狩橋

御成新橋が砂押において十文字川を渡るところにあり、徳川家康の鷹狩りに関係深い橋です。



ちよっと まわい道

東金市緑花木センター

地図P12 7

「植木の東金」の伝統を垣間見ながら、良質の緑花木を気軽に買い求めることができます。約2万㎡の敷地内に四季折々の花や緑が揃い、定期的に植木や盆栽のセリ市も開催。八角形のシンボルタワーは屋内展示場です。





食虫植物群落



所要時間：約200分
距離：約14.2km
消費カロリー711kcal

C 豊成地区 将門伝説コース

【**巖島神社～将門伝説の道～関寛齋生家**】

- 1 豊成公民館 豊成公民館から出発。関寛齋生家への道、そして平将門伝説をたどる道がメインの歴史ロマンあふれるコースです。
- 2 巖島神社
- 3 水神宮
- 4 妙善寺
- 5 熊野神社
- 6 豊成公民館

所要時間：約100分
距離：約7.1km
消費カロリー350kcal



C 豊成地区 自然観察コース

【**食虫植物群落～武射神社～水婆神社**】

求名駅から出発。由緒ある武射神社、天然記念物の食虫植物群落、そして土農田周辺で飛行場跡や田園風景の眺めも楽しめます。

- 1 求名駅
- 2 南高福寺
- 3 北高福寺
- 4 食虫植物群落
- 5 武射神社
- 6 妙善寺
- 7 法華寺
- 8 水婆神社
- 9 常覚寺
- 10 熊野神社
- 11 求名駅

C 豊成地区 将門伝説コース

- 1 豊成公民館
- 2 関内水神社
- 3 巖島神社
- 4 水神宮
- 5 妙善寺
- 6 熊野神社
- 7 豊成公民館

スポット紹介

C 豊成地区 将門伝説コース

関内水神社

地図P17 1

関内の水神社は、農業を助ける水の神として信仰を集め、平将門の祖父が雨乞いのために参詣したという言い伝えも残っています。ここにはたくさんの絵馬が奉納され、3点が市の文化財に指定。



熊野神社

地図P17 5



巖島神社

地図P17 2

御門にある巖島神社には、将門の母(妻)の桔梗前がまつられています。創建年代は不明で、かつては桔梗前弁天という名前でしたが、明治5年に巖島神社と改められました。



妙善寺

地図P17 4

山号を帝立山といい、顕本法華宗に属します。創建は天慶年間(938～946)と思われ、将門が母である桔梗前の菩提を弔うため、京より貞観法師を迎えて開基したと伝えられています。境内の乳銀杏(市指定天然記念物)は、多数の房状の気根(空中に露出した根)が特徴です。



産前橋

橋のたもとで平将門が生まれたといわれています。川を布で囲って産湯をつかったことから布留川ともいわれます。



ちよっと きれいだ

関寛齋生家

地図P17 6

東中の吉井家に生まれた蘭学医の関寛齋は、母親との死別の後、前之内の関家の養子となり「医は仁術」を実施しました。生家や面足神社が当時のまま残ります。晩年は北海道十勝の斗満原野を開拓、陸別町の礎を築きました。



スポット紹介

A

B

C

D

E

F

G

H

C 豊成地区 自然観察コース

北高福寺

地図P17 2

本松寺の末寺で、顕本法華宗に属します。本寺は宝暦13年(1763)の創立で、開基は日納です。境内にある取子塚(市指定文化財)は、天明3年(1783)、住職日納上人の菩提を供養するため、成人した取子たちが建てた供養碑です。

武射神社

地図P17 4

慶長年間から400年もの間伝承されてきた、由緒ある「夏越の神事」(市指定文化財)で知られる神社です。毎年6月晦日、季節の境い目に半年間の汚れを払い、厄除けをする年中行事の一つとして続いてきました。いわゆるみそぎの神事で、儀式は、浅茅の大輪くぐりや人型の切り和紙を使ったお清めなど、古式に則って厳粛に進行します。



南高福寺

地図P17 1

本漸寺の末寺で、顕本法華宗に属します。創建年代は不明で、もとは真言宗の寺でしたが、酒井氏時代の明応年中(1492~1500)日泰によって改宗され、永正元年(1504)日晷が開基したという説があります。



食虫植物群落

地図P17 3

国指定の天然記念物で、東金市と成東町の作田川に沿った湿原地帯にあります。葉に粘毛を備えたモウセンゴケやイシモチソウ、砂泥中の地中部に袋を備えたミミカキグサなどの食虫植物のほか、ノハナシヨウブやハルリンドウなど各種の湿原植物が生育しています。木製の観察路が敷かれ、自由に見学することができます。



妙本寺

地図P17 5

酒井氏の改宗令に追われて、幾たびも場所を変えた蓮台寺(真言宗、成東町)と深い関係があります。移遷先の一つ、下武射田村八幡前の寺跡に建てられたのが妙本寺です。境内に市指定天然記念物の柳があります。



水娶神社

地図P17 7



法華寺

地図P17 6

本漸寺の末寺で、顕本法華宗に属します。創建年代は定かではありませんが、もとは真言宗の寺で、享禄3年(1530)日信によって法華宗に改宗されたといわれています。



常覚寺

地図P17 8

前之内にある安立山常覚寺は最福寺(谷)の末寺で、顕本法華宗に属します。江戸初期の承応元年(1652)に創立され、開基は現成院日晷です。



神橋

成東町と東金市の境にあり、作田川にかかる御成り新道の橋です。新しくかけ替えました。

ちよっこ まわい道

地図P17 10

成東町歴史民俗資料館

昭和47年、成東町殿台に開館しました。生活文化を伝える民俗資料はもとより、古文書、成東町の生んだ近代短歌の先駆者「伊藤左千夫」の遺品、また町内の古墳群から出土した埴輪や土器などが保存展示されています。



スポット紹介

A

D 源地区 源模範村散策コース

B

C

D

E

F

G

H

八幡神社

地図P21 3

上布田にある八幡神社は、境内の広さが675坪、祭神は応神天皇です。社殿は間口5間、奥行2間の規模ですが、建立にまつわる由緒などは分かっていません。

薬王寺

地図P21 2

頭本法華宗の寺で、漢方薬を作っていたため「布田の薬師様」「布田の目薬」などの愛称で、県内外にまで広く親しまれてきました。ここで、毎年9月7日と8日に「大施餓鬼会」が行われます。とくに昭和の始めごろは大変な人出で、一晩中にぎわったといえます。



源村育英基本碑

地図P21 1

源村は明治時代、村民が協力して村の財政再建に成功し、三模範村の一つとして人々の目を驚かせました。源公民館には基本林の碑があります。



三社神社絵馬 市指定文化財

地図P21 5

高札形の松板で作られた、縦132cm・横214cm・中央部の高さ146cmと大型の絵馬があり、稲作作業の過程が描かれ彩色されています。こうした産業絵馬は市内では1枚のみ、県下でも珍しいもので、この地方の江戸時代の生活を知る貴重な資料です。

ほんごくじ

本極寺

地図P21 4

本松寺の末寺で、頭本法華宗に属します。



本極寺に近い山武杉

極楽寺水飲場

地図P21 6

極楽寺で建設業を営んでいた戸田長三郎氏が昭和7年(1932)、62歳のときに落成しました。木造平屋建ての社寺建築で約1坪、棟高9尺。奥の上段には「天照皇太神」と「成田不動尊」がまつられています。現在は水道が整備されていますが、以前は木造の水桶が置かれ、毎朝水を汲み入れて通行人に飲ませていたといえます。



ちよつと
まわい道

野馬土手

下総国は昔から馬の飼育が盛んで、江戸時代には馬の放牧のためいくつもの野馬土手がつくられました。原野を土手で囲ったところは「牧」と呼ばれ、佐倉7牧では合わせて3800頭もの野馬が飼育されていたそうです。

地図P21 7

A

B

C

D

E

F

G

H

**E 正気地区
田園ロマンコース**

【円福寺～田畑見乃塚～稲生神社】

正気公民館から出発し、広瀬と家徳を巡るコース。江戸時代に塚崎新田開発を行った家徳忠張、広瀬伝三郎の名が地名の由来です。



行程
所要時間：約80分
距離：約5.7km
消費カロリーー285kcal

**E 正気地区
和算発祥巡りコース**

【孫六神社～諏訪神社～宮沢賢治の歌碑】

宿村には、かつて植松是勝の和算塾がありました。この正気地区東側には神社が数多く、また宮沢賢治の歌碑もあります。



行程
所要時間：約95分
距離：約6.6km
消費カロリーー330kcal



..... 田園ロマンコース
..... 和算発祥巡りコース
☺ トイレ
P 駐車場

スポット紹介

**E 正気地区
田園ロマンコース**

本城寺

地図P25 5

塚崎新田の開発が行われた享保13年(1728)、廃寺同然だった本城寺を広瀬の地に移そうと、一村一寺の本願を寺社奉行に提出。許可を受け、日寛が開基となりました。

田畑見乃塚

地図P25 3

江戸時代、広瀬伝三郎は塚崎新田の開発を行いました。広瀬の稲生神社には、広瀬家五代兼直らが慶応3年(1867)に建てた「田畑見之塚」があります。「伝えおくところは花の折々も業怠らで田畑見乃塚」と、先祖の苦勞をたたえる和歌が刻まれています。



円福寺

地図P25 1

顕本法華宗に属し、本漸寺の末寺です。寛永2年(1625)年に創立されました。寺には、半分焼けただれた木造の不動尊が安置されています。これは、もと妙善寺にあつ



たものが火事るとき空中に舞い上がり、家徳に下りたものと伝えられています。

八幡神社

地図P25 2

創建は江戸中期の享保17年(1732)です。広瀬の稲生神社と同じく、塚崎新田の開発が行われた際、家徳地区の鎮守として創建されたという由緒をもつ神社です。新田村がつくれ、北



塚崎が家徳村となって以来、村の守り神とされてきました。

稲生神社

地図P25 4

塚崎新田の開発が行われた広瀬地区の鎮守で、享保13年(1728)に創建されました。幕府の許可によって新塚崎が広瀬村となったこの年、村民が農業神としてこの神社を勧請したもので



す。小さな宮居ですが、今日にいたるまで広瀬村の守り神とされてきました。

**ちよっと
まわい道**
東金アリーナ

2000年オープン of the 体育館は、バレーボールなどの国際大会も開催できる施設で、トレーニングルームや武道場も完備。2002年には陸上競技場が完成し、市をはじめ郡市や県などのスポーツ大会に活用されています。



地図P25 6

スポット紹介

A

B

C

D

E

F

G

H

正気地区
和算発祥巡りコース

孫六神社

地図P25 1



みや ざわ けん じ

宮沢賢治の歌碑

地図P25 6

荒生の小倉豊文氏の墓地に昭和30年(1955)、小倉家先祖追善のため建てられました。小倉氏は元広島大学教授で宮沢賢治の研究家でした。歌碑に刻まれているのは、賢治絶筆2首のうちの1首といわれています。賢治の歌碑は全国にも数少なく貴重なものです。



天満神社

地図P25 2



諏訪神社

地図P25 3

信州の諏訪大社でまつられている建御名方命の分霊を勧請した神社です。この神は、軍神として土着武士たちの信仰を集め、同時に農民たちからも農業の神として尊ばれてきました。戦国末期の



酒井氏時代の創建と思われるのですが、年代は定かではありません。

熊野神社

地図P25 4



宮沢賢治の歌碑から望んだ九十九里浜方面

F 福岡地区 自然と神仏コース

福岡公民館から出発。東側には大沼田檀林跡、西側には浅間神社、大関城跡など見所が点在し、循環バスも運行されています。

【浅間神社～大関城跡～大沼檀林跡】

- ⑤ 福岡公民館
- ① 浅間神社
- ② 宝蔵寺
- ③ 善導寺
- ④ 大関神社・大関城跡
- ⑤ 砂古瀬神社
- ⑥ 白幡大権現
- ⑦ 延命寺
- ⑧ 妙経寺・大沼田檀林跡
- ⑨ 皇産霊神社
- ⑩ 要本寺・落齒塚
- 福岡公民館

所要時間：約190分
距離：約13.3km
消費カロリーー666kcal



真亀川



南白亀川

-  トイレ
-  駐車場
-  循環バス
(主なバス停)

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H

スポット紹介

F 福岡地区 自然と神仏コース

せんげん 浅間神社

地図P28 1

浅間神社は、各地で子どもの守り神として親しまれています。砂古瀬の「せんげんさま」は昔から、子どもの誕生から7歳までは、旧暦5月30日の宵祭にお参りする習わしがありました。今でも祭の日には多くの露店が並び、親子連れの参拝客でにぎわいます。



おおぞき 大関神社・大関城跡

地図P28 4

大関城は元久元年(1204)、あわのくに安房国から上総国に移った畠山重忠の支族によって、重康の代に造営されたといわれています。依古島を中心に、南白亀川と真亀川にはさまれた標高4~5mの低湿地帯に建てられた水城みづしろです。根古屋跡は砂古瀬に残っています。



宝蔵寺

地図P28 2

「旭の御祖師様」と呼ばれる日蓮上人の立像が安置されています。江戸中期の作と思われ、日蓮上人が清澄寺で初めて「南無妙法蓮華經」と唱えた時の合掌姿とされています。



ぜんどうじ 善導寺

地図P28 3

天正18年(1590)日暁の開基といわれる、顕本法華宗の寺です。俳人のいた寺として知られ、俳句が刻まれた碑が3基(市指定文化財)あり、他の寺とはひと味違った風雅な雰囲気があります。近くに江戸中期の学者・大木丹二の墓があります。



まがめがわ 真亀川

福岡地区の北部や東部の重要な排水河川です。享保年間に享保堀として作られた歴史を持っています。



みょうきょうじ おおぬまた だんりん あと

妙経寺・大沼田檀林跡 市指定文化財

地図P28 8

文禄3年(1594)日蓮上人にっしんしょうにんが田間の長久寺檀林を妙経寺に移し、その後元和年間に拡大され、関東八大檀林の一つに数えられるようになりました。ここは、全国各地から数百人の学徒僧が集まる日蓮宗の学校です。大暴風雨や火事などにみまわれながらも300年近く続けられましたが、明治7年(1874)ついに廃校となりました。



はんとうじ 飯島寺

上谷一区にある飯島寺は、明応2年の開山といわれ、大沼田妙経寺につく歴史のあるお寺です。この山門の彫刻は、市内においても数少ない立派なものです。



白幡大権現

地図P28 6



なばきがわ 南白亀川

福岡地区の南西部を流れる重要な河川です。幾度となく改良が加えられてきました。



ようほんじ らくしづか

要本寺・落齒塚

地図P28 10



境内にある落齒塚の碑(市指定文化財)は、県内にも2基しかない珍しいものです。寛政9年(1797)旗本・中川忠英によって建てられました。当時は齒を自分の分身としてあがめ、抜け落ちると丁重に供養する風習が残っていました。



G 大和地区 万葉吟遊コース

【山辺赤人塚～法光寺～本竜寺】

福俵駅または大和公民館から出発。山辺赤人塚、法光寺、本竜寺などの史跡に加え、風光明媚な雄蛇ヶ池の眺めを楽しめます。

- ⑤ 福俵駅
- ⑥ 海潮寺
- ⑦ 福相寺
- ⑧ 常安寺
- ④ 山辺赤人塚
- ⑤ 法光寺
- ⑥ 鹿渡神社
- ⑦ 本福寺
- ⑧ 大鷲神社
- ⑨ 本竜寺
- ⑩ 鹿渡神社
- 福俵駅

所要時間：約180分
距離：約12.4km
消費カロリー-621kcal



ちょっと まいり道

地図P31 11

雄蛇ヶ池



「房総十和田湖」とも呼ばれる美しい雄蛇ヶ池は、江戸時代初期に造られた貯水池です。代官・嶋田伊伯を中心に築造計画が立てられ、慶長9年(1604)から10年がかりで完成。農地をうるおしてきました。

トイレ
P 駐車場



本竜寺山門

海潮寺

地図P31 1

古い歴史をもつ寺で、南北朝時代の暦応4年(1341)鎌倉御殿の局・一安比丘尼によって創立されました。宗派は禅宗でしたが、のちに日蓮宗に改宗しました。



やまへのあかひとづか

山辺赤人塚

地図P31 4

雄蛇ヶ池に近い田んぼの中に、榎の古木と石碑がたっています。これが万葉歌人三十六歌仙の一人、歌聖といわれた山辺赤人の墓と伝えられる「赤人塚」です。この地に赤人伝説がおこったのは文化年間(1804～1817)ごろと思われれます。



本福寺

地図P31 7

田中の法光寺に属していた寺で、日泰上人の高弟日行上人が、真言宗から顕本法華宗に改宗しました。寺宝の釈迦如来立像は、像高163cm、両手を合わせた珍しい印相です。

福相寺

地図P31 2

鎌倉時代末期の嘉暦元年(1316)真言宗の寺として創立されました。創立から174年後、酒井定隆の鎌倉御殿の局・一安比丘尼によって創立されました。宗派は禅宗でしたが、のちに日蓮宗に改宗しました。



法光寺

地図P31 5

上総十か寺の一つで、寺宝「産の玉」は安産のお守りとされてきました。本堂は山門から150mほど離れ、その遠望は見事です。文明15年(1483)前後の作で市内最古の木像と推定される閻魔王坐像、文化年間の作と思われる山辺赤人坐像(市指定文化財)が安置されています。



大鷲神社

地図P31 8

永禄年間(1560年代)に東金酒井氏が五穀豊穡と盗難火災除けとして天受売命をまつりました。徳川時代は鷹匠も参詣したと伝えられています。虫歯除けの神様の民間信仰が残っています。

常安寺

地図P31 3

石田常安の屋敷跡に建てられたので「常安寺」と命名されたといわれ、創建年には諸説あります。往時は相当な大寺だったと思われますが、その面影は全く残っていません。



かのと

鹿渡神社

地図P31 6, 10

田中の鹿渡神社は鹿島神宮系統の社で、天慶8年(945)に創建されました。その霊を移して同名の神社を福俵と蛇島にもつくりましたが、その年代は不明とされています。

本竜寺及び山門

地図P31 9

慶長3年(1598)の創建で、開基日明は不動尊への信仰を深め、波切の霊像といわれる尊像をまつりました。山門は、明治初年に解体された東金御殿の門の一つが、鶴岡家方を経て移築されたとされ、江戸時代の構造材が残っているのは2本の主柱だけと思われれます。



H 丘山地区 西行行脚コース

丘山公民館から出発。貴船神社、墨染桜、六所神社の大杉など文化財がメインです。工業団地内には小町塚があります。

【墨染桜～ 貴船神社～六所神社】

- ⑤ 丘山公民館
- 1.3km
- ① 東成寺
- 0.5km
- ② 八幡神社
- 2.0km
- ③ 墨染桜
- 0.3km
- ④ 貴船神社
- 2.5km
- ⑤ 小町公園
- 0.1km
- ⑥ 六所神社
- 2.5km
- ⑦ 本円寺
- 1.0km
- 丘山公民館

所要時間：約150分
距離：約10.2km
消費カロリー-511kcal



小町公園

ちよっこ まわい道

鉢ヶ谷遺跡

千葉東テクノグリーンパークの中にあり、平成7～8年の発掘調査で、旧石器時代から平安時代の生活跡が多数発見されました。とくに完全な形で出土した縄文時代のカップ形土偶は、全国にも数点しかない貴重なものです。現在、市役所1階口ビーに展示しています。



県指定文化財(考古資料)

地図P33 8

東成寺

地図P33 1

千眼山東成寺といい、丹尾にあります。顕本法華宗に属する寺で、江戸時代の寛永20年(1643)に創立されたと伝えられています。



八幡神社

地図P33 2

熊野大須美大神、伊弉那美神、事解之男神の3柱の神をまつります。近年山砂採取のために山容が著しく変わってしまいました。



すみぞめ

墨染桜 市指定天然記念物

地図P33 3

貴船神社近くの高台に、墨染桜と呼ばれる桜の古木があります。桃紅色の花が次第に紅白色へ変わり、黒くしぼんで落花するといわれています。西行が杖にしてきた山城国(京都府)深草の墨染桜の枝を地面にさし、やがて大きく成長したという伝説があります。



こまち

小町公園

地図P33 5

かつて六所神社近くに、平安六歌仙の一人・小野小町にちなんだ「小町塚」がありました。小町伝説は全国各地に伝えられ、当地の小町塚には小町が使っていた機織の道具「オサ」が埋まっているといわれていました。現在は小町公園として整備されています。



本円寺

地図P33 7

明応7年(1498)日興を開基として創立された、顕本法華宗の寺です。寺のある地は土気城の分城があったところといわれ、城址らしい遺構が残っています。

きふね

貴船神社

地図P33 4

主祭神の玉依姫命は農業・漁業を守る神とされ、農民や漁師たちから信仰されてきました。現在は、拝殿右側にそびえる樹齢約300年の大杉、そして毎年1月4日に行われる御神の神事(市指定文化財)で有名です。



ろくしょ

六所神社

地図P33 6

小野の六所神社は六柱の神をまつっています。毎年旧暦9月19日(現在は10月中旬)の秋祭りで奉納されるのが、表谷鞆鼓舞です。演じるのは表谷鞆鼓連(上関田・下関田・池之辺田・新田)。三人一組の獅子舞で、起源は江戸時代後期と思われる。なお、天然記念物として大杉が市指定になっています。



街道物語

古街道には先人たちの想いや歴史上の物語が数多く残されています。東金地域にいにしえから伝わる4大ルートを散策してみましょう。

1 御成街道

御成街道は、東金と船橋を結ぶ約37kmの直線道路で、慶長18年(1613)に徳川家康の鷹狩りのために造られました。家康にまつわる数々の伝承が残る御成街道の東金御殿跡へと至る道のりをたどります。



2 上総道学の道

江戸時代中期から上総地域に広まった朱子学が「上総道学」です。上総道学の大家・稲葉黙斎、その弟子・大木丹二、上総道学八子の一人・櫻木闇齋など、創始者や門人たちの史跡をめぐり、学問の道をたどります。



3 干鰯の道

江戸時代から日本一と謳われた九十九里のいわし漁。加工品の干鰯は、俵に入れ馬で運ばれ、または大型の船に積み込まれ、広く出荷されていきました。大漁にわく浜から、全国へ送り出された干鰯の道をたどります。



4 九十九里鉄道

関東地方に最後まで残った内燃動力の軽便鉄道、通称「キドー」。あぜ道に残るホーム跡や線路跡、サイクリングロード「きどうみち」など、東金と九十九里町片貝間8.6kmを結んだキドーの鉄路跡をたどります。



- 1 御成街道
- 2 上総道学の道
- 3 干鰯の道
- 4 九十九里鉄道



お な り か い どう 御成街道をゆく

別名「提灯街道」「一夜街道」「権現街道」とも呼ばれる御成街道は、徳川家康の命を受けた佐倉城主・土井利勝が、突貫工事で完成させた道です。東金御殿へと通じる道すじに、古道の面影を訪ねます。

おあし坂が当時の面影を色濃く残す

鷹狩りの道を作る

慶長18年(1613)12月、佐倉城主・土井利勝は、徳川家康から東金辺鷹狩りの準備を命じられました。そこで、船橋と東金をほぼ直線で結ぶ新道を作ることになり、沿道97か村もの村民を総動員して突貫工事を実施。10日～15日という短期間で完成させたといわれています。

このとき、白旗と提灯を大木に掲げ、昼夜を問わず作業を続けて三日三晩で完成させた、あるいは一夜にして完成させたなどの伝承があり、「提灯街道」「一夜街道」「権現街道」とも称されるようになりました。

将軍様の東金御成り

御成街道づくりと同時に、家康の休憩・宿泊所として東金御殿が建てられました。敷地は約6700坪、建物は部屋数が40を越え、ほぼ中央に家康が使用する部屋があり

は幾つか考えられますが、正式な街道は油井を経由するコースと思われます。

慶長19年(1614)の正月、家康が初めて御成街道を通して東金御殿に入り、東金や九十九里方面で1週間にわたり鷹狩りを行いました。その後も家康、秀忠の東金御成りが繰り返されましたが、寛永7年(1630)秀忠の鷹狩りが最後の御成りとなりました。寛文11年(1671)4月、東金御殿は取り壊



家康と日善上人(最福寺)

ほんぜんじ 本漸寺

地図P36 d-4

本漸寺のお手植え蜜柑は、家康が東金御殿地内に植えたものを移植した、あるいは本漸寺に立ち寄ったとき苗木を植えたなどの伝説があります。



コンレイ坂下の道標

され、将軍(大御所)が使用した居間は、畏れ多いとの理由から焼き払われたといえます。

道祖神



その後の御成街道

御成街道は、将軍の名代として鷹役人が通ったり、九十九里方面の魚類や海産物などを江戸へ運ぶ道として利用されたり、村人の生活路として使われるようになりました。

かつては沿道の松並木が称賛された御成街道も、現在は、道路や畑、ゴルフ場などの造成で道筋が一部途絶えています。往事の面影は消えつつありますが、ところどころに立つ「御成街道」という標識が、歴史を静かに伝えています。

とうがねごてん 東金御殿表門跡碑

地図P36 d-4

火正神社の南、小川家具の前がかつて「表御門」「番所」があった場所。この石碑は平成2年(1990)に再建されたものです。



か ず さ どう が く

上総道学の道をゆく

上総道学は、江戸時代中期の享保～寛政年間に、成東・松尾・東金・片貝・大網を中心とした山武地域の農民に普及した学問で、稲葉迂斎・黙齋父子により広められました。かつて、若い門人たちが通った道をたどります。

上総道学の発祥

享保12年(1727)作田川の成東大橋架け替えのため、幕府から代官手代として酒井修敬が派遣されてきました。しかし、長雨のため工事は中断されてしまいました。江戸初期の朱学者・山崎闇斎の流れをくみ、稲葉迂斎と同門であった修敬は、工事再開までの日々を無駄に過ごすことはなく、「このあたりに向学の若者がいれば、雨のあがるまで漢学の指南をしよう」と書生を集めます。そして十数人の若者が修敬のもとで熱心に学びました。

架橋工事が終わり修敬が江戸へ帰るとき、



稲葉黙齋縁の元倡寺



稲葉黙齋の墓



稲葉黙齋の肖像画(元倡寺所蔵)

ともに江戸へ行き、大儒者・稲葉迂斎について朱子学を学ぶ若者たちが出ました。いわゆる上総八子^{おとうきやんさい}およびその他の人々です。上総八子の一人が櫻木闇齋で、東上総地域の庶民を教導した人物として知られています。

稲葉黙齋のもとで学ぶ

その後、天明元年(1781)に迂斎の子である黙齋が大網白里町清名幸谷時中庵に定住します。そして天明5年(1785)、54歳のとき孤松庵に居を移しました。以後、東金を中心に地元の若者たちが孤松庵で学びました。東金市北幸谷に生まれ村名

主を務めた大木丹二^{おおきたんじ}も門人の一人で、その徳行の深さから黙齋に人間的に最も愛された人物といわれています。

寛政11年(1799)黙齋は孤松庵で没し、成東村の庭賢山元倡寺に葬られました。遺言により、丹二は黙齋から孤松庵及び汁器一切を譲り受けました。

今も受け継がれる向学心

黙齋の没後も弟子たちが塾を開き、上総の地で、あるいは上京して学ぶ者は途絶えませんでした。上総道学発祥の地である成東町では、今日でも黙齋の学問を学ぶ人たちがいます。

迂斎の時代を第1期(1727～1781)、黙齋の時代を第2期(1781～1799)、黙齋没後今日までを第3期(1799～2000)とし、それぞれの時代に向学の若者が通った道を「道学の道」と名付けました。黙齋の学問は礼と敬の実践であり、今なお地元の人々の心に生きています。

成東大橋

地図P36 f-2

東金市と成東町との境を流れる作田川に、古くから架かる橋です。たもとは「上総道学発祥地の碑」が建っています。



上総道学の碑



櫻木闇齋の墓



大木丹二の墓



大村蕉雨書「時中庵」(清名幸谷の鶴澤宣美氏所蔵)

孤松庵跡の碑

地図P36 c-5

稲葉黙齋は、ここを上総道学の学舎として学問の研究及び若者の指導にあたりました。



ほしか 干鰯の道をゆく

九十九里浜は江戸時代から、いわし漁と加工品の干鰯生産でにぎわい、長く日本一の座にありました。現在とは違い、いわしが主に田畑の肥料として利用されていた江戸時代。魚肥「干鰯」の歴史を訪ねます。

江戸時代に作成された大地曳網の絵

じびきあみりょう

地曳網漁のはじまり

九十九里で漁業が盛んになったのは、17世紀初頭に関西漁民が出稼ぎに来るようになってからです。この頃、関西地方では綿の栽培が盛んになり、その肥料となる干鰯を関西へ供給することが出稼ぎの目的でした。

当時、房総では小規模な網漁か釣りによる漁しか行われていませんでしたが、関西漁民の進出によって、地曳網漁が普及して



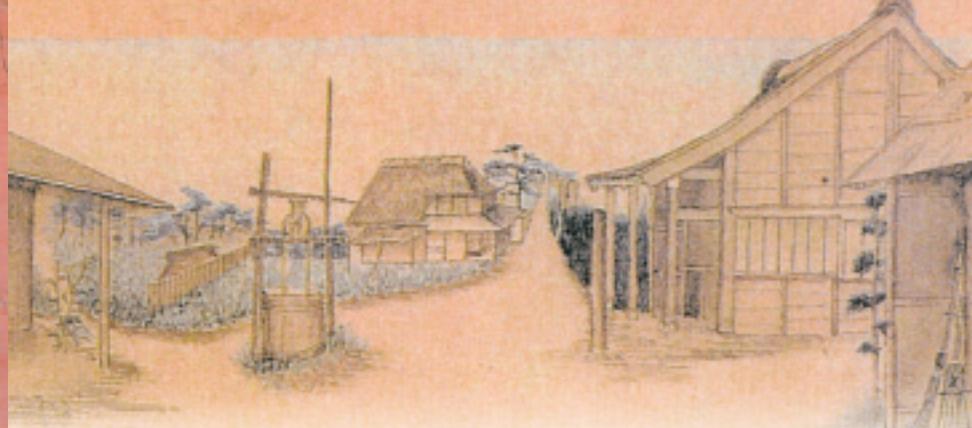
いきます。

地曳網は、はじめ1艘の漁船で網を張る「片手回し」が行われ、その後、2艘の漁船を使う「大地曳網」に移行。多いときは1日に5、6回の漁が行われることもありました。

元禄16年(1703)関東で大地震が起き、大津波で関西漁民を含む多くの漁民が犠牲となりました。その後、出稼ぎ漁民に代わって地曳網の担い手となったのは、地元の大地主層です。一人の網主が複数の網を持つ場合もあり、九十九里浜全体に豊漁期で300の地曳網があったといえます。

関西へ運ばれた干鰯

いわしを砂の上に干し、春夏は10日から15日、秋冬は30日ほどで干鰯ができます。干鰯は、俵などに入れて出荷されました。東金の農家が馬で陸路を運び、また俵やざるも東金から供給されていました。



明治15年、滝の交差点の様子

いわし漁も干鰯の生産も、綿生産に使う魚肥をつくるために伝わったものです。そのため干鰯は、九十九里から船で浦賀へ運ばれ、浦賀から関西方面に運搬されてきました。しかし、17世紀末になると関東でも干鰯の需要が高まり、江戸にも干鰯問屋ができました。

現在のいわし漁と加工業

いわしの不漁期は江戸期にも何回かありましたが、明治になると深刻さを増し、300を数えた網数は明治20年頃には100ほどに減ってしまいました。そして大地引網は衰退し、改良揚網あぐりあみが考案され、その数を増やしていきました。



干鰯を入れた俵

観光地曳網

地図P36 g-6

九十九里の各海岸で、昔ながらの地曳網を体験することができます。沖に仕掛けた網を協力して引き上げれば、魚の味も格別です。



い のうただたか 伊能忠敬出生の地

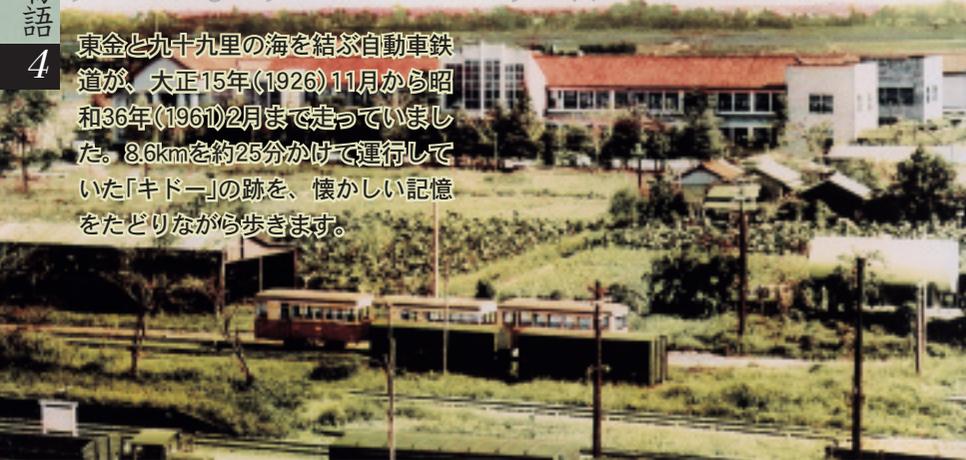
地図P36 f-4

江戸後期の地理学者・測量家で、我が国最初の実測地図を作製した伊能忠敬。九十九里町小関の生家跡に公園が整備されています。



九十九里鉄道をゆく

東金と九十九里の海を結ぶ自動車鉄道が、大正15年(1926)11月から昭和36年(1961)2月まで走っていました。8.6kmを約25分かけて運行していた「キドー」の跡を、懐かしい記憶をたどりながら歩きます。

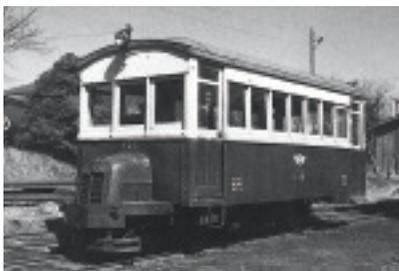


「キドー」の東金駅

潮風を運ぶ「キドー」の誕生

東金と九十九里町片貝間を結ぶ「キドー」は、車輛の前面にエンジンのボンネットが飛び出し、ガソリンを燃料とした気動車が走る「自動車鉄道」です。九十九里鉄道の社名が、当初「九十九里軌道」だったことから、地元の人たちに「キドー」と呼ばれ親しまれるようになりました。

開通の祝賀式は上総片貝駅前の広場で行われましたが、東金でも協賛の売り出し、花火・喜劇・相撲など大変なごちやうでした。始発は東金駅。現在のJR東金駅の東側



キハ103。エンジンが先端に飛び出している(白土貞夫所蔵)



キハ104の社内(昭和36年、林辰雄撮影・白土貞夫所蔵)

に隣接して、小さな駅舎がありました。ここを出発して少し進むと右にカーブし、ほぼ片貝県道(南側)に沿って終点の上総片貝駅に向かいます。途中の駅は堀上、家徳、西の3駅でしたが、後に荒生、学校前駅が設置されました。客車のほかに貨車もあり、主に塩干魚が運ばれました。



九十九里鉄道の乗車券(白土貞夫所蔵)



真亀川をわたる「キドー」(白土貞夫所蔵)

戦前・戦後を走り抜ける

乗客数が最も多くなるのは、海水浴客が増える夏場です。九十九里浜では明治の終わり頃から海水浴場が整備され始め、昭和10年頃には戦前の海水浴ブームのピークを迎え、関東では湘南に次いで人気を集めました。太平洋戦争が始まると、ガソリンに代わる燃料として、九十九里地方に豊富な天然ガスが利用されるようになり、気動車も改造されました。

また、戦後は九十九里地方へ食糧を買い出しに来る客が増えたため、短期間ながら蒸気機関車が走った時期もあります。天然ガス用に改造されていた気動車も、戦後は再びガソリンを燃料とする車輛に戻されました。

また、戦後は九十九里地方へ食糧を買い出しに来る客が増えたため、短期間ながら蒸気機関車が走った時期もあります。天然ガス用に改造されていた気動車も、戦後は再びガソリンを燃料とする車輛に戻されました。

片貝海水浴場

地図P36 g-6



九十九里浜のほぼ中央にあり、遠浅で白い砂浜が広がります。4月下旬には本州一早い「海開き」が片貝中央海岸広場で行われます。

キドーの名残を訪ねて

その後、乗客数や貨物量が減り、昭和36年2月28日にキドーは営業最後の日を迎えます。セレモニーや車輛への飾り付けなどはなく、見送る人もまばらでした。

現在は、堀上付近から線路跡を利用してつくられた中央雨水幹線、堀上と家徳間の旧道床に残るコンクリート製の橋台、ホーム跡と思われるコンクリートが



片貝駅のバス停

残る荒生駅跡、「片貝駅」という名称のまま利用されているバス発着所などに、キドーの名残を見ることが出来ます。



現在の荒生駅跡

サイクリングロード「きどうみち」

地図P36 f-5



九十九里に入ると「キドー」の跡は「きどうみち」という名のサイクリングロードとして整備され、人々に親しまれています。

伝統芸能 & イベントカレンダー

地域の人たちによって、郷土に守り伝えられてきた無形文化財の数々が、今も大切に受け継がれています。

- 4月 東金桜まつり(八鶴湖)
- 5月 市民歩け歩け大会
- 6月 環境イベント
(アースセレブレーション)
ニュースポーツフェスタ
武射神社夏越の神事
- 7月 なつやま探検隊
(長野県堀金村)
日吉神社大祭(隔年)
(東金ばやし・新宿囃子)
- 8月 やつさまつり
ボートカップ(八鶴湖)
- 9月 ぶどう狩り(ぶどう園)
表谷鞆鼓舞
幸田獅子舞
- 10月 市民体育祭
田間神社大祭(隔年)
北之幸谷の獅子舞
- 11月 東金市文化展・文化芸能大会
東金市産業祭
市民歩け歩け大会
- 12月 健康福祉まつり
- 1月 初日の出(山王台公園)
貴船神社の御神的神事
東金消防出初式
市民駅伝大会



東金ばやし

日吉神社の夏祭りで演奏されるおはやしです。曲目は四丁目、通りばやし、ばかばやし、雷ばやしの4つで、雷ばやしは押塚区の創作になるものです。この「東金ばやし」にのり、豪華な山車が市内を練り歩きます。



表谷鞆鼓舞

六所神社の秋祭りで奉納される三人一組の獅子舞です。舞には横つとび、道中、四方がかり、夏見などがあり、早い動きで舞います。鞆鼓とは、雅楽の中の唐楽に用いる打楽器ですが、現在では鞆鼓は付けていません。



北之幸谷の獅子舞

北之幸谷の稲荷神社の氏子に伝承された二人立の獅子舞で、毎年3回演じられます。演目には平舞、四つ足、玉鈿、蛇狂、蛙狂、おそめなどがあり、なかでも秋祭りに演じられる「はしご昇り」は動きの見事さで有名です。



幸田獅子舞

10月下旬の日曜日、腹に太鼓をつけた雄獅子・雌獅子・子獅子が三人一組となって舞う獅子舞です。本光寺、八幡神社、熊野神社、水神社の前で奉納されるほか、地区内の各家を回り、村境では「辻切り」を行います。



田間神社大祭

仏教の神様である第六天を祀られている田間神社で旧暦8月15日に行われています。御輿を担ぐ禰宜という役が、代々同じ家に引き継がれているのが特徴です。祭りの最後は「お山」という急な神社の石段を登ります。



貴船神社の御神的神事

毎年1月4日に行われる御神的神事は、慶安4年(1651)から始まったと伝えられています。「おびしゃ(歩射)」により、12本の矢を放ってその年の農作物の豊凶を占う、古式ゆかしい神事です。



武射神社夏越の神事

陰暦では6月までが夏で7月1日から秋となることから、6月30日を「夏越し」といいます。夏越の神事は、邪神を払い災いを除く年中行事の一つで、儀式の後、神事に使用した一切の物を作田川に流して終わります。

東金市文化財一覽

名 称	区 分	指定年	指 定	ページ
成東・東金食虫植物群落	天然記念物	大正9年	国指定	19
多田屋本社社屋	登録文化財	平成11年	国指定	
多田屋店舗	登録文化財	平成11年	国指定	
東金ばやし	無形民俗文化財	昭和38年	県指定	45
北之幸谷の獅子舞	無形民俗文化財	昭和39年	県指定	46
鉢ヶ谷遺跡第1号縄文土壙出土遺物一括	有形文化財(考古資料)	平成13年	県指定	33
八坂神社本殿内殿	有形文化財(建造物)	平成14年	県指定	13
日吉神社表参道杉並木	天然記念物	昭和44年	市指定	7
丸山遺跡	史跡	昭和44年	市指定	
墨染桜	天然記念物	昭和51年	市指定	34
新宿囃子	無形民俗文化財	昭和52年	市指定	
八坂神社の銀杏	天然記念物	昭和53年	市指定	13
小野表谷鞆子舞	無形民俗文化財	昭和55年	市指定	45
閻魔王坐像	有形文化財(彫刻)	昭和56年	市指定	32
山辺赤人坐像	有形文化財(彫刻)	昭和56年	市指定	32
三社神社絵馬	有形民俗文化財	昭和56年	市指定	23
五輪塔	有形文化財	昭和58年	市指定	13
枝垂桜	天然記念物	昭和58年	市指定*	
八坂神社の神使(牛一對)	有形文化財(彫刻)	昭和59年	市指定	
木刀塚碑	有形文化財	昭和59年	市指定	13
本松寺の鐘楼	有形文化財(建造物)	昭和59年	市指定	13
武射神社夏越の神事	無形民俗文化財	昭和60年	市指定	46
幸田獅子舞(鞆鼓舞)	無形民俗文化財	昭和60年	市指定	46
落齒塚の碑	有形文化財	昭和60年	市指定	30
下武射田妙本寺の棚	天然記念物	昭和60年	市指定	20
新宿・浅間神社前の庚申塔	有形文化財	昭和60年	市指定	
天正19年上総国山辺郡山田村御水帳	有形文化財	昭和60年	市指定	
本松寺の大櫃	天然記念物	昭和60年	市指定	
貴船神社の御神的神事	無形民俗文化財	昭和60年	市指定	46
作田東睡の墓碑	史跡	昭和60年	市指定	

名 称	区 分	指定年	指 定	ページ
日吉神社本殿	有形文化財(建造物)	昭和61年	市指定	7
日吉神社の神使(申一對)	有形文化財(彫刻)	昭和61年	市指定	
大関城跡	史跡	昭和61年	市指定	29
妙善寺の乳銀杏	天然記念物	昭和62年	市指定	18
六所神社の大杉	天然記念物	昭和62年	市指定	34
高札四枚	有形文化財	昭和62年	市指定	
大絵馬一枚	有形文化財	昭和63年	市指定	15
取子塚	有形文化財	昭和63年	市指定	19
田間城跡	史跡	昭和63年	市指定	14
関内水神社絵馬三枚	有形文化財	平成元年	市指定	18
櫻木闇斎の墓碑	史跡	平成2年	市指定	10
貴船神社の大柵	天然記念物	平成2年	市指定	34
道庭置上堰に関する貞享四年裁許書並びに絵図	有形文化財(古文書)	平成2年	市指定	
日殿上人の墓	史跡	平成3年	市指定	10
北条伝馬手形	有形文化財(古文書)	平成3年	市指定	
植松是勝の数学書	有形文化財(古文書)	平成3年	市指定	
久我政右衛門の筆塚の碑	有形文化財	平成3年	市指定	
大檀那酒井氏一類の供養塔	史跡	平成4年	市指定	
鰐口	有形文化財(工芸品)	平成5年	市指定	
多羅葉(多羅葉樹)	天然記念物	平成5年	市指定	9
釈尊入滅涅槃像	有形文化財(絵画)	平成5年	市指定	
大黒天像	有形文化財(彫刻)	平成5年	市指定	
智者大師画像	有形文化財(絵画)	平成5年	市指定	
大沼田壇林跡	史跡	平成6年	市指定	30
東金城跡	史跡	平成7年	市指定	7
大野の茶園資料	有形文化財(歴史資料)	平成9年	市指定	
半鐘	有形文化財(工芸品)	平成10年	市指定	
大木忠篤の墓	史跡	平成10年	市指定	
黒田しし穴列	史跡	平成11年	市指定	
俳人三化と可都良の墓碑	史跡	平成12年	市指定	
八坂神社本殿	有形文化財(建造物)	平成16年	市指定	13

※平成13年指定解除

あいうえお順検索

あ

石橋記念館	13
伊能忠敬出生の地	42
巖島神社(東金)	8
巖島神社(豊成)	18
稲生神社	26
稲葉黙斎の墓	39
稲荷神社	16
岩川池	10
丑ヶ池	15
円福寺	26
櫻木闇齋の墓	10
大木丹二の墓	40
大関城跡	29
大関神社	29
大沼檀林跡	30
大宮神社	22
雄蛇ヶ池	31
お林の墓地	10
表参道杉並木	7
表谷鞆鼓舞	45
大鷲神社	32

か

海潮寺	32
片貝海水浴場	44
鹿渡神社	32
観光地曳綱	42
願成就寺	13
元福寺	16
北高福寺	19
北之幸谷の獅子舞	46
貴船神社	34
貴船神社の御神的神事	46
久我城跡	14
熊野神社(豊成)	18
熊野神社(源)	22
熊野神社(正気)	27

こ

幸田獅子舞	46
極楽寺水飲場	24
小町公園	34
弧松庵跡の碑	40
古山王神社	9
最福寺	9
佐藤信淵の石碑	8
山王台公園	9
三社神社絵馬	23
三介の墓	13
産前橋	18
市東塚	8
壽福寺	14
上行寺	14
常安寺	32
常覚寺	20
食虫植物群落	19
酒蔵城跡	22
白幡大権現	30
神橋	20
水婆神社	20
菅原神社	7
墨染桜	34
諏訪神社	27
関内水神社	18
関寛齋生家	18
浅間神社(東金)	9
浅間神社(福岡)	29
善導寺	29

た

高砂浦五郎両親の供養塔	8
滝沢古墳群	22
田畑見乃塚	26
田間城跡	14
田間神社	14
玉前神社	14
天神社	14
天満神社	27
東金アリーナ	26
東金御殿跡	7
東金御殿表門跡碑	38
東金城跡	7
東金市緑花木センター	16
東金馬場跡	9
東金ばやし	45
東金ぶどう郷	13
東金文化会館	10
東成寺	34
道庭古墳群	16
唐金茂右衛門の墓	8
ときがね湖	14

な

南白亀川	30
七曲がり	10
成東大橋	40
成東町歴史民俗資料館	20
日殷上人の墓	10
野馬土手	24

は

羽黒神社	15
八幡神社(東金)	7
八幡神社(源)	23
八幡神社(正気)	26
八幡神社(丘山)	34
バラ園	8
飯島寺	30

ま

日吉神社本殿	7
法光寺	32
福相寺	32
宝蔵寺	29
木刀塚	13
法華寺	20
鉢ヶ谷遺跡	33
本円寺	34
本極寺	24
本城寺	26
本漸寺・碑林	7
本福寺	32
本松寺	13
本竜寺	32

や

真亀川	29
孫六神社	27
御狩橋	16
南高福寺	19
源村育英基本碑	23
宮沢賢治の歌碑	27
妙経寺	30
妙宣寺	15
妙善寺	18
妙本寺	20
武射神社	19
武射神社夏越の神事	46

ら

薬王寺	23
八雲神社	8
八坂神社	13
山辺赤人塚	32
要本寺	30
落齒塚	30
六所神社	34

見学する方の心得

- 出発前に文化財の場所や交通機関を確認しましょう。
- 他人の家や社寺など、建物の中に無断で入らないようにしましょう。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- 自然と文化財を大切に、草木や昆虫などを傷つけないようにしましょう。
- 火の元に十分注意してください。
- 貴重な文化財については、保存や保管の関係で閲覧できない場合があります。



表紙の写真／日吉神社表参道杉並木

裏表紙の写真／八鶴湖

カッパ形土偶

編集・発行

東金市教育委員会

〒283-8511 千葉県東金市東岩崎1-1

TEL.0475(50)1187 FAX.0475(50)1205

印刷・製本

株式会社エリート印刷



環境にやさしい大豆油墨を使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています